

かけはし

学校と家庭とを結ぶ学年通信

明石市立江井島中学校 第2学年

～ 合言葉は「みんなでみんなを！」～

2020年9月18日 NO. 28

体育大会を振り返って

1組

僕は体育大会を終えて成長したと思うことが2つあります。1つめは、団結することの大切さです。取り組みが始まって、初めて縄跳び走の練習やリレーの練習をしたときはしゃべっている人が多く、あまりスムーズにいていませんでした。縄跳び走も全然息が合わず、先生にアドバイスをもらったりして、自分たちで仕切ることができず、クラスがばらけた感じでした。でも学級員や保体委員が話をしたりして、体育大会が近づくにつれてみんなの気持ちがひきまってきました。しだいに縄跳び走の息も合うようになってきました。そして、本番学年種目は2位だったけど、クラスのみんなはさすがに顔を上げてとても良かったです。クラスが団結し成長できたと思います。

2つめは、リーダーとしてクラスをまとめる難しさです。練習中も暇なときはしゃべっている人が多く、あまり指示が通りませんでした。でも大会が近づくにつれてみんなが聞いてくれるようになり団結できたと思います。来年は最後の体育大会なので、精一杯楽しみたいです。

1組

私はスローガンの「個性×団結＝笑顔 ～体育大会方程式～」を達成できたと思います。理由は、学年種目の本番で、みんなが跳べなかったりしたとき「あせらず！」「ゆっくり、ゆっくり！」など励ます声があったからです。そして最後の最後で3位から2位になりました。そのときはすごくうれしかったです。女子スウェーデンでは、結果負けてしまったけど、「拍手して迎えよう！」など温かく励ましあえました。そして、男子スウェーデンでは見事1位を勝ち取れました。みんなで叫んで応援していました。



過去最高に楽しかった体育大会でした。“個人でできないこともクラスのみんながいればできる”と思えました。前までは「体育大会 面倒くさい・・・」と思っている自分が、いつのまにか「体育大会

たのしみだなあ」と思っていました。これもクラスのみんなのおかげだと思います。できれば優勝して、「勝たせてもらって！！」と言いたかったです。

来年こそ勝ちたいです。体育大会で高めたこの『団結』を文化祭にいかせるようにしたいです。生徒会の方、保体委員の方々、おつかれさまでした。私たちのためにありがとうございました。

2組

私が一番がんばったことはスウェーデンリレーと応援です。リレーでは1走で、心臓が出てきそうになるほど緊張していました。というか出てきました！「位置について」でしゃがんだときは泣きそうになりました。「よいい・・・」「ドン」が「よ～～い」・・・「ドン」と言われ、ためが長すぎてもらしそうになりました。走り出すと接戦だったのと必死に頑張りました。無事に第2走者の□□□□にバトンを渡せて良かったです。□□□□が他のクラスを抜いてくれて、□□□□も走り抜いて□□□□にバトンが渡った時にはもうやばかったです。□□□□と□□□□の僅差のバトルはほんとうにすごかったです。最後□□□□が勝ったときは“やばい”を極めました。「1位2組！」と言われたときは「やばい」の聲がかすれました。退場してから「やったな～」「よかった～」などをメンバーで話していると、□□□□と□□□□が泣いていて、□□□□がはしゃいでいました。メンバーと泣きながら喜びことができるのはとてもよいメンバーだなと思いました。

2組

体育大会を通して頑張ったことは、自分が出る種目と演技係が両立できたことです。体育大会のある2学期に保体委員をするのは初めてで何をすればいいかわからなかったけど、他のメンバーが教えてくれたり、先生方が教えてくださったりして不安が消え、必ず成功させようというやる気が起きてきました。

ただ、両立となるとどうしても自分のことで精一杯になってしまって周りが見られず、2組のみんなのことがわかりませんでした。でも学年種目、リレー種目を通してみんなの団結力を感じ、自分ももっと頑張って両立させ、クラスのみんなをまとめるために精一杯努力しようと思いました。

当日は、結果よりも全員が楽しめる体育大会にできて良かったです。結果は3位だったけど、気持ちはどのクラスよりも強く団結力もあり、みんなの良い思い出になればいいと思いました。

